

企画展示「続・あの人の直筆」開催のご案内

有名人の書簡や原稿を展示します

国立国会図書館では、国内外の出版物以外にも、さまざまな資料を所蔵しています。このたび、そうした資料の中から、有名人の直筆約120点を集めた展示会「続・あの人の直筆」を開催します。

これは、平成26年度に開催した展示会「あの人の直筆」に続く第2弾となります。あの戦国武将が書いたと伝わる書状、今年没後100年の有名なあの作家の句稿、テレビドラマで知ったあの実業家の書簡などのほか、新たに蔵書に加わった手稿譜（手書きの楽譜）も展示します。ぜひ「あの人」に会いにお越しください。

●東京本館（東京都千代田区永田町1-10-1）

会期：【前期】平成28年10月15日（土）～10月29日（土）

【後期】平成28年10月31日（月）～11月12日（土）

※前期と後期で展示替え、展示箇所の変更を行う資料があります。

※日・祝・第三水曜日（10月19日）は休館日です。

開催時間：午前10時～午後7時（土曜日は午後6時終了）

会場：国立国会図書館東京本館 新館1階 展示室

●関西館（京都府相楽郡精華町精華台8-1-3）

会期：平成28年11月18日（金）～12月3日（土）

※日・祝・11月28日（月）は休館日です。

ただし11月20日（日）は午前10時～午後4時まで開催します。

開催時間：午前10時～午後6時

会場：国立国会図書館関西館 1階 第2研修室

東京本館出展資料の一部（約30点）と、直筆博士論文を展示します。

いずれも入場無料・入館手続き不要です。

■ お問合せ先

利用者サービス部サービス企画課 展示企画係 03-3581-2331（代表）

■ 報道機関の方のお問合せ先

総務部総務課 広報係 03-3506-5103（直通）

展示資料のご紹介 ※画像は、当展示会の広報の目的でご利用になる場合、お渡しすることができます。

1. 大久保利通 書簡 (明治10(1877)年2月7日)



伊藤博文に宛てた書簡で、長さは5メートル近くにも及びます。西南戦争で西郷軍鎮圧の最高指揮をとった大久保利通が、発端となった鹿児島県私学校派による火薬庫襲撃事件を受け、今後の対応などを書き送っています。また、この事件への西郷隆盛の関与について、西郷の人柄や近況などを縷々あげ、関与はありえないとしています。



2. 伊達政宗 書状 (近江高島藩主 佐久間安政宛) ※後期展示
伊達政宗の自筆書状で、慶長15(1610)年から18(1613)年頃のものとしてされています。政宗の花押は、その形が水鳥のセキレイに似ていることから、「セキレイの花押」の通称があります。

3. 夏目漱石 句稿 (明治29(1896)年)

漱石が子規に送った句稿で、漱石が新婚の妻とともに北九州を旅行したときの句などが収められており、子規は朱で丸を付すなどしています。



■ その他の主な「あの人」

- 将軍・武将、伝称筆者 豊臣秀吉、足利義政、西行
- 近世の知 渋川春海、小野蘭山 (重要文化財指定資料)、伊能忠敬、司馬江漢
- あの本のあの人 長谷川雪旦、喜田川守貞
- 芸能とその周辺 歌川豊国 (三代目)、市川団十郎 (五代目、七代目、九代目)
- 幕末・維新の人々 佐久間象山、井伊直弼、幕末の三舟 (勝海舟、高橋泥舟、山岡鉄舟)、西郷隆盛、吉田松陰、坂本龍馬
- 政治家 高橋是清、後藤新平、石橋湛山、福田赳夫、大平正芳
- 社会運動家 北一輝、幸徳秋水、賀川豊彦
- 実業家 五代友厚、広岡浅子、御木本幸吉、根津嘉一郎、小林一三、出光佐三
- 教育家 新島襄、新渡戸稲造
- 学者 伊藤圭介、北里柴三郎、西田幾多郎、柳田國男、金田一京助
- 文学者 幸田露伴、尾崎紅葉、中里介山、柳原白蓮
- 芸術家 朝倉文夫、柳宗悦、棟方志功
- 棋士・力士 木谷実、呉清源、双葉山定次
- あの人の子 木戸松子、伊藤梅子、愛新覚羅浩
- 絵画 飯島光峨、河鍋暁斎、岡不崩
- 署名本 内田百閒、徳川夢声、林芙美子
- 手稿譜 林光